

次世代施設園芸拠点の整備について

要望先 農林水産省

要望の要旨

高知県は、全国に先駆けてオランダと人的、技術的交流を進めており、オランダの先進技術を取り入れた生産性の高い技術の開発と普及に取り組んでいます。

また、次世代施設園芸拠点の建設予定地には、「担い手育成センター(仮称)」を同時期に建設する予定ですし、既存の「クラインガルテン」も立地しています。次世代施設園芸拠点が整備されれば、これらの施設との相乗効果によって幅広い人材の育成とともに、高度な農業経営が広く県内に波及することが期待できます。

【要望の理由】

1 高知県は次世代施設園芸拠点の適地

(1) オランダとの人的、技術的交流

高知県は、平成21年度にオランダのウェストラント市との友好園芸農業協定を締結しました。これを契機に、研究員の派遣やオランダの技術者の招聘による生産現場での技術指導など人的、技術的交流を進めています。

(2) こうち新施設園芸システムの開発と普及

高知県は、オランダのハウス内統合環境制御技術を高知県の気象条件などに適合した技術として構築するための研究開発を進めてきました。ナスやピーマン、キュウリなどでは15～30%の増収効果が確認されており、これらの品目では既に普及段階に入っています。

(3) 環境保全型農業の取り組み

高知県は、天敵昆虫の利用などIPM技術の確立と普及に取り組んでいます。天敵導入率はナスで77%、ピーマンでは91%に達するなど全国でもトップクラスとなっています。

(4) 木質バイオマスエネルギーの利用

高知県では、農業用の木質バイオマスボイラーが169台導入されています。また、木質燃料は県内で安定的に供給される仕組みがあります。

さらに、県内企業においては全国に先駆けて1ha規模のハウスに対応できる木質バイオマスボイラーが開発されており、次世代施設園芸拠点の大規模ハウスに対応できる環境が整っています。

2 担い手育成センター(仮称)、クラインガルテンとの相乗効果の発揮

(1) 担い手育成センター(仮称)

次世代施設園芸拠点の建設予定地に隣接して、先進技術を習得した担い手を育成するための「担い手育成センター(仮称)」を整備することとしています。次世代施設園芸拠点との技術交流などの相乗効果が期待されます。

(2) クラインガルテン

次世代施設園芸拠点の建設予定地に隣接して、移住促進のための拠点施設「クラインガルテン」が22棟整備されています。この施設から既に2組が四万十町に移住しており、現在も22組が入居しています。